キャラクター名
板橋 次石

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ブラックドッグ	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	UGN支部長
オプショナル		年齢	36	性別	男性
覚醒	渇望	衝動	破壊	初期侵食率	33 %
出自	有名人	経験	大失態	邂逅	越えられない壁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	1	0	0			1
精神	4	0	0			4
社会	1	1	0			2

HP	28
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ			交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
大型拳銃	射撃	4r-1		5		
インプラントミサイル	射撃	4r-2		12		イニシアチブでオートで装備。範囲選択になる。1シナリオ1回。
小型浮遊砲	射撃	4r-1		5		イニシアチブでオートで装備。装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウエポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
戦闘用人格	P	N		
木田　刀野	P　感服	N 劣等感		
ｽﾉｳ・緋空=ﾌﾛｽﾄﾉｰｳﾞｧ	P 連帯感	N　恐怖		
あやめ	P　同情	N　憐憫		
怪盗□	P　興味	N 敵愾心		
散楽寺　優	P 連帯感	N　嫉妬		
調査員	P　信頼	N		

最大財産P:　8	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ノイマン	2	2	メジャー		自身	自動		
効果：組み合わせた判定のc値を-Lv。下限7								
勝利の女神	3	4	オート	視界	単体	自動	100	
効果：判定の直後に使用。判定の達成値を+Lv*3。1R1回								
ハードワイヤード	5							
効果：インプラントミサイル*2、小型浮遊砲								
マルチウェポン	2	3	メジャー	武器		対決		
効果：同じ技能で扱う武器を2つ使用できる。								
コントロールソート〈射撃〉	1	2	メジャー	武器		対決		
効果：このエフェクトを組み合わせた判定は【精神】で判定できる								
ポルターガイスト	1	4						
効果：								
写真記憶	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

UGN四季音市支部に新しく任命された支部長。非常に卑屈で、弱腰で、優柔不断であり、およそリーダーらしくない。
が、いざ戦闘となると人が変わり、普段とは真逆な強気で好戦的な言動をとる。なお、この時の記憶はあまりないらしい。
こんな感じだがそこそこの実績はあげており、今回木田の後任に抜擢された。
かつては新進気鋭でバリバリ活躍していた若手エージェントだったが、ある時大失態をやらかし、木田刀野に助けられる。以後、彼にコンプレックスを感じ、失敗を取り返そうとしては悉く上手くいかず、次第に卑屈になっていった。

うーん、今のところは新米の支部長で気弱で前任と部下からの圧で参っているというのを考えました
それでそのストレスが戦闘の時に爆発する（戦闘用人格）
段「ヒェェ…もう嫌だぁ」
戦闘「あーはははハーァ！メチャメチャにしてやラァ！！！」
木田「ここの支部は任せる。しばらくは私も執務の補佐を行おう。」
漂う威圧感
「ヒェっ、き、木田さん自ら…きき恐縮ですすす」
スノウ「あぁ、貴方が新しい支部長ですね。私は副支部長のスノウ。慣れない事もあるでしょうけど、出来る限りの補佐はします。」(ニコヤカ)
「は、はい。ヨロシクオネガシマス…」
「そんなに畏まらなくても大丈夫ですよ。私は貴方の部下なのですから、ちゃんと上から接してくだされば」(ニコニコ)
「さもないと……スグに取って代わられちゃいますよ……？」(耳元で囁きながら)
「なんて、冗談ですけどね～！」(笑顔に戻る)
「ヒィィイッ！」パタン（気絶）

今、木田元支部長の同期だったが、ずっと才覚も人望も敵わなくてコンプレックスをずっと持ってるという考えが思い浮かんだ